

ファーストバーストサポート事業等

委員 母子保健型利用者支援事業費について、ファーストバーストサポート事業と多胎児家庭支援事業を実施し、子ども商品券を配付すると聞かぬが、事業の内容は、子ども商品券を配付するものである。ファーストバーストサポート事業については、1歳を迎える子どもがいる家庭に育児アンケートを行い状況が把握できた場合に、1万円の子ども商品券を配付するものである。また、多胎児家庭支援事業は、子どもが0歳から2歳までの時に、その年ごとに面談を行い、都度1万円の子ども商品券を配付するものである。両事業とも紙媒体の商品券を事後に郵送する予定である。

市民協働推進事業

委員 市民協働推進事業について、令和3年度は、2年度予算の約2倍の予算が計上されているが、事業内容について聞きたい。

協働推進課長補佐 2年度の新規事業をレベルアップし、2年度中に作成した協働のまちづくりノートを3年4月に市内の全小学6年生に配布し、モデル校3校でノートを使用した授業を実施する予定となっているほか、2年度に実施した市民協働のプラットフォーム



▲コロナ禍におけるワークショップの様子

クラウド学習教材

委員 現在、市立小・中学校で、クラウド学習教材を活用しながら学習支援に取り組んでいると思うが、教科用消耗器材費のクラウド型学習支援サービスに関する予算の概要や活用状況の把握の方法は、指導室主幹 クラウド型学習

校外学習等運営事業 全体的な傾向は

委員 校外学習等運営事業について、全体的にこの数年間、減少傾向にある中で、セカンドスクール運営費や林間学校運営費と比較し、修学旅行費の予算は特に減少しているが、理由は、

指導室主幹 修学旅行に関する予算については、修学旅行費補助金の単価見直しにより、減少傾向にあったが、平成30年度にこの見直しを終了したことから、それ以降は実際に補助される金額に変動はなく、一人当たり9000円の補助となつている。なお、令和3年度の修学旅行費予算については、生徒数の増加に伴い、2年度と比較すると5・9%の増加となっている。

小規模事業者販路開拓等支援事業 予算増額の理由は

委員 小規模事業者販路開拓等支援事業費について、令和2年度と比較すると、4倍の額で増額されているが、その理由について聞きたい。

生活環境部次長 同事業について、2年度当初は、伊勢丹府中店の撤退に伴う市内事業者の支援という趣旨で展開していたが、その後、コロナ禍における市独自の市内中小企業支援事業にもなり得ることから、2年度中に2回補正予算を組んで対応した。

このような経緯から、3年度当初予算においては、2年度との比較で4倍となる2400万円の予算を計上したものである。

総括

中心市街地活性化

委員 中心市街地にできる新施設の開業に伴う効果やにぎわい創出等の取組について聞きたい。

生活環境部長 新施設の開業に伴い、中心市街地が新たに生まれ変わり、市民生活の利便性の向上が図られるとともに、にぎわいが生まれ、来訪者の増加による大きな経済効果が期待される。

今後、新施設も含め府中駅周辺の大型施設が一体となり事業展開し、新たなにぎわいの創出と、まちの魅力を高めることができるよう、市としても支援していく。

風水害対策

委員 令和3年度の風水害対策への取組について聞きたい。

行政管理局長 水害が発生する恐れがある場合に、市民や来訪者へ水害リスクを周知し、命を守るための避難行動を促すことを目的として、浸水想定区域内の電柱に想定浸水深表示板を設置する。

国土交通省の河川洪水浸水想定区域図における、想定浸水深が3メートルから10メートルの区域にある電柱の合計300本に、表示板を設置する予定である。

自治体DX

委員 推進体制の構築やAI・RPA利用促進などの6つの重点取組事項を進めていくとされている。国の自治体DX推進計画について、本市の対応状況を聞きたい。

行政管理部長 推進体制の構築については、現時点で具体的な取組は行っていないが、令和4年度以降の組織体制等を含め、今後、関係課と調整していく。また、重点取組事項のうち、行政手続きのオンライン化やAI・RPAの利用促進については、既に取組を開始している。

地域包括ケアシステム

委員 市の地域包括ケアシステムは、今後、文化センターがネットワークづくりの拠点となり、高齢者だけでなく子どもや障がい者などを含めた地域住民が対象になる地域共生社会の枠組みの中に構築されると考えるが、このような全世代を対象とする包括的な支援体制の拡充に向けた、市の取組は、

福祉保健部長 市では、地域の様々な方とつながりが持てる取組を行い、地域の多様な主体が協働・連携して、地域課題を解決する体制を構築していく。

公共施設整備基金

委員 公共施設整備基金の積立状況について聞きたい。また、今後の見通しは、

財政担当参事 同基金については、収益事業収入の増加分等を充て、順調に積み立てることができている。一方で、今後、このペースが維持できるとは限らないため、引き続き可能なタイミングでの積立を行っていく必要がある。また、今後、公共施設の老朽化対応が集中すると見込まれるため、20年先までを考慮する。

市税の特徴

委員 令和3年度予算における市税の特徴について聞きたい。

市民部長 個人市民税については、新型コロナウイルス感染症の影響による名目賃金の減少等から、前年度に比べ、大きく減収すると見込んでいる。

また、法人市民税についても、一部国税化の影響に加え、同感染症による法人の経済活動の停滞などから、前年度に比べ減収するものと見込んでおり、市税全体では前年度比で約3・7%減収するものと想定している。

令和3年度各会計別予算額

区分	令和3年度	令和2年度	伸び率(%)
一般会計	1097億1000万円	1043億3000万円	5.2
特別会計			
国民健康保険	233億2383万3千円	234億1533万7千円	△0.4
後期高齢者医療	55億6421万5千円	55億4693万2千円	0.3
介護保険	188億4041万6千円	187億40万8千円	0.7
公共用地	18億6175万5千円	13億2445万6千円	40.6
計	495億9021万9千円	489億8713万3千円	1.2
合計	1593億21万9千円	1533億1713万3千円	3.9
公営企業会計			
競走事業	828億6952万7千円	801億4501万7千円	3.4
下水道事業	64億3869万5千円	63億4996万5千円	1.4
合計	893億822万2千円	864億9498万2千円	3.3
全会計の合計	2486億844万1千円	2398億1211万5千円	3.7

令和3年度一般会計予算款(科目)別内訳

